

第 3 節 PTA 運動の主要課題

2. 協議会の組織活動

昭和 28 年(1948)12 月、機関誌「日本 PTA」が創刊された。当時の記事では、地方の活動紹介、米国 PTA 関連記事、両親教育などが多く載せられている。選挙に関連して、各政党の教育関連公約一覧などが載っているのも注目される。以降、全国の会員、各学校 PTA と日本 PTA 全国協議会をつなぐ重要な機能を果たし続けることになる。年 6 回、奇数月に隔月で発行している。

昭和 30 年(1955)11 月の第 3 回日本 PTA 全国研究大会(熱海市)で初めて PTA 文部大臣表彰が行われ、以後、毎年、日本 PTA 全国協議会の推薦する優良 PTA に対し、文部大臣表彰が行われるようになった。

昭和 31 年(1956)の大会では、全国協議会結成の 10 月 15 日を記念して、その日から 1 週間(10 月 15 日～21 日)を「PTA 週間」と定めて PTA 運動の振興を図ることとした。以後、毎年続けられることとなった。

また、当時、全国協議会では、PTA 関係者や学識経験者を委嘱し、PTA に関し調査、審議、建議、具申などを行う「審議会」を最高諮問機関として設置している。